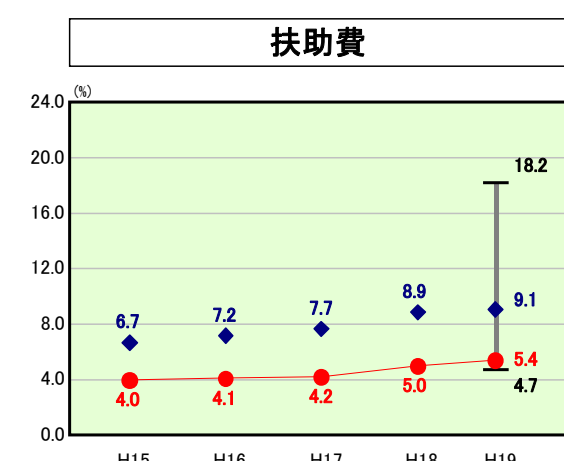
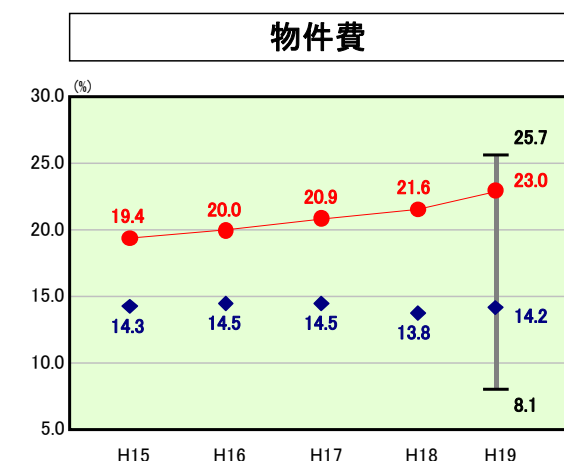
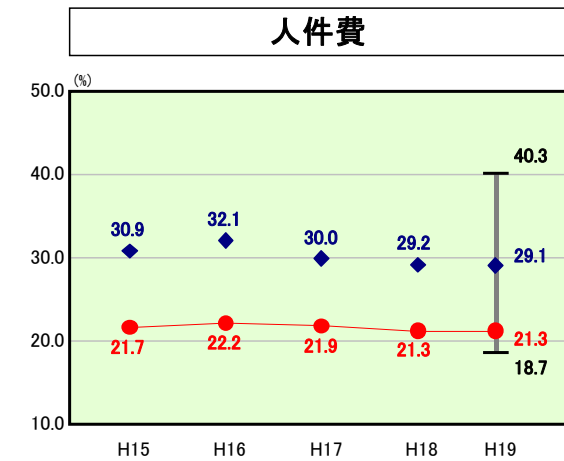
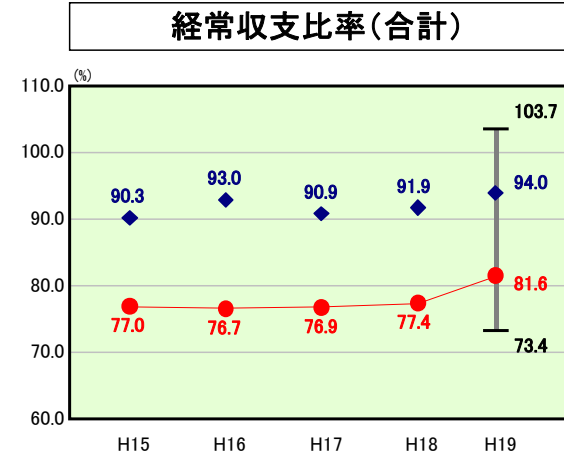


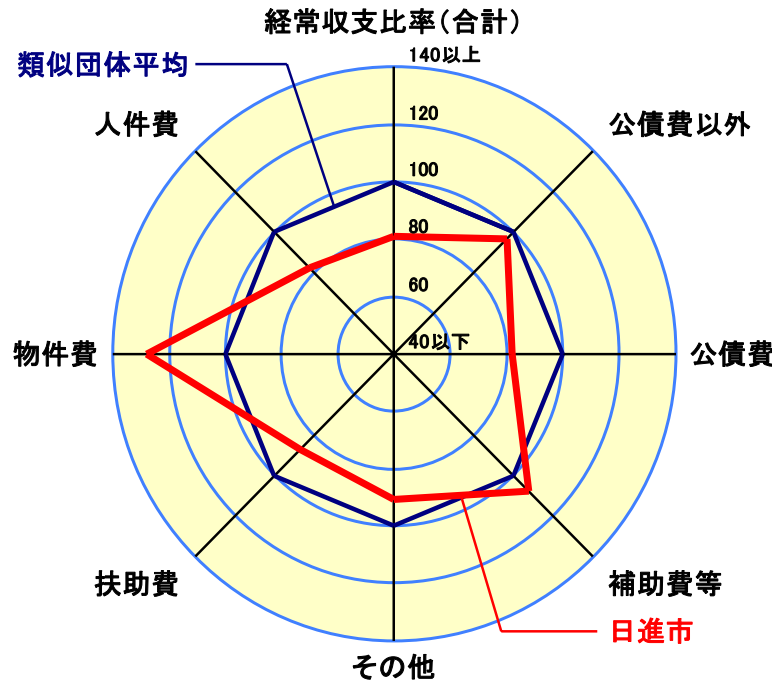
# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

愛知県 日進市

## 経常収支比率の分析



人口	78,061人(H20.3.31現在)
面積	34.90 km <sup>2</sup>
歳入総額	22,650,572千円
歳出総額	21,793,193千円
実質収支	122,119千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

経常収支比率：人口増加や高齢化により、物件費、扶助費等の経常的経費が増加しており、経常収支比率は増加傾向にある。引き続き集中改革プラン、定員適正化計画等により、経常経費の削減や人件費の抑制に努める。

人件費：本市は、類似団体平均を下回っているが、要因としては人口規模に対して、職員数が比較的抑制されていること、上水道、し尿、ごみ、消防を一部事務組合で行っていること、また指定管理者制度の活用や、技能労務職の民間委託、退職不補充等、人件費の抑制に努めていることがあげられる。

物件費：類似団体平均を上回っており注意が必要である。また、事務の多様化等により増加傾向にあるが、集中改革プラン等により歳出削減に努め、「平成22年度決算における物件費等の伸びを対平成17年度決算比で、10%未満」を目標とする。

扶助費：類似団体平均を下回っているが、人口増加や高齢化による子育て支援や福祉の充実等のため増加傾向にある。今後も財政力に見合った給付に努める。

公債費以外：類似団体平均を下回っているが、増加傾向にある物件費、扶助費について集中改革プラン等により抑制に努める。

公債費：類似団体平均を下回っているが、保育園や新設小学校、図書館等の大規模な建設事業の財源として起債を発行しており、今後の増加が見込まれる。計画的な借入を行い、財政の硬直化を招かないように努める。

補助費等：類似団体平均を上回っているが、要因としてはし尿、ごみ、消防を一部事務組合で行い、各組合への負担金が補助費等へ計上されるためである。また、補助金等の交付については、行政の責任分野、経費負担のあり方、行政効果等の精査を行い定期的に見直す。

その他：類似団体平均を下回っているが、今後においても、適正な水準の維持に努める。普通建設事業費：普通建設事業費の人口1人当たり決算額は類似団体平均を上回っているが、これは新設小学校や図書館等の大規模な建設事業を実施しているためです。

